Japanese Medical Society on Child Abuse and Neglect

第15回 日本子ども虐待医学会 学術集会 JaMSCAN in Gunma

会　期 ‖ 2024年8月31日[土]・9月1日[日]
プレコングレス ‖ 8月30日[金]
会　場 ‖ 昌賢学園まえばしホール [前橋市民文化会館]
群馬県前橋市南町3-62-1
大会長 ‖ 溝口史剛 [前橋赤十字病院 小児科]
主　催 ‖ 一般社団法人 日本子ども虐待医学会
事務局 ‖ 前橋赤十字病院　総務課
公式サイト ‖ https://g-regi.jp/15jamscan/ ▶
運営事務局 ‖ 株式会社 klar [クラール]
〒371-0013 群馬県前橋市西片貝町4-23-4
Tel.027-260-9525／Fax.027-260-9322／Mail.15jamscan@g-regi.jp

後援 ‖ こども家庭庁／法務省／警察庁／日本看護協会
日本医療ソーシャルワーカー協会／日本社会福祉士会
日本精神保健福祉士協会／日本小児科学会
日本子ども虐待防止学会／前橋地方検察庁／群馬県警察本部
群馬県／前橋市／群馬県看護協会／群馬県医師会／群馬県小児科医会
群馬県看護協会／群馬県医療ソーシャルワーカー協会／前橋市医師会
前橋市小児科医会

ち 智
い 医
き 絆
をあげて
守り抜く

子どもの君を
子どもだったあなたを

illustration©Tetsuko Nagano

大会長より：
　タフであらねばならない我々も、一人一人は弱いちっぽけな人間に過ぎません。日常臨床で力及ばず無力感に苛まれることも稀ならずあるでしょう。そのような辛さを分かち合い癒しあい、再び力強く立ち上がるエネルギーを与えてくれるのも、また人と人との絆です。コロナパンデミックによりしばらくの間、中止されていた懇親会も今年から復活します。皆さまのご参加を心よりお待ちしています。

予定プログラム

基調講演

①「これからのこども・子育て支援を考える」　胡内敦司
②「科学における“正しさ”とは何か？～科学の伝え方・向き合い方～」　菊池聡

教育講演

①「きょうだい間虐待への取り組み～被害者支援と加害者臨床の視点から～」　信田 さよ子
②「ネグレクトの原因をホルモンと神経で考える～生理学からのアプローチ～」　下川哲昭
③「こどもまんなか社会の到来と今後の小児科医のあり方について
～いち子ども虐待医学会員からの提言～」　井上登生
④「アサーション～I’m OK, You're OKなコミュニケーションスキル～」　宇部弘子

Meet the expert

「米国の虐待医学教育と虐待専門医制度、および多機関連携」　山岡祐衣
「本邦並びに各国の虐待疑い時の精査ガイドライン」　丸山朋子

ランチョンセミナー

①「NOFTT(非器質的発育不全)と養育支援」（提供：ノボノルディスクファーマ）　高橋英城
②「子ども虐待に潜む要因～神経発達症と睡眠障害～」（提供：ノーベルファーマ）　仙田昌義

シンポジウム

①「現場を離れて見えたこと：マイヒストリー」
横山北斗(MSW)/白井静香（病院看護師/髙岡 昂太（児相心理士）/提箸延幸（勤務医から）
②「AHT(虐待による頭部外傷)：法曹三者/法医学者はどう捉えているのか」
中谷雄二郎(元裁判官)/清野憲一(検察官)/小谷泰一(法医学者)/川上博之(刑事弁護人)

③「子ども虐待を予防する：親子を守る支援的関わり」
中井正江（NHZ）・渡部京太（MBT）・伊東史ヱ（PCIT/CARE）・宮下奈々（CAP）

特別講演

「生きることに絶望した子どもがお笑い芸人を目指すまで」星野一成（芸名:星野ディスコ）

特別シンポジウム

「社会的養護を語ろう:医療者の知るべき通告のその先～児童養護施設を経験した私たちから～」
石崎優子・THREEFLAGS（ブローハン 聡・山本昌子・西坂来人）

特別展示

「子ども食堂を知っていますか？」　丸茂ひろみ

各プログラム・演者の詳細については、学術集会のHPよりご確認ください